

年末年始の労働災害防止について

● 業種別労働災害発生状況（10月末現在）～佐世保署管内～

業種	令和元年	前年同期	増減数	割合
製造業	↑ 63	54	+9	16.7
建設業	↓ 32	34	-2	-5.9
運輸交通業	↑ 23	20	+3	15.0
商業	↓ 32	43	-11	-25.6
保健衛生業	↑ 27	25	+2	8.0
その他	↑ 56	53	+3	5.7
合計	233	229	+4	1.7

～ 事故の型別（ワースト5）～

- ① 転倒 56件
- ② 墜落・転落 51件
- ③ はさまれ・巻き込まれ 26件
- ④ 交通事故 20件
- ⑤ 切れ・こすれ 19件

● 佐世保署管内で死亡災害が発生しています。

当署管内の死亡災害は、令和元年は10月末時点で3件と、前年同期と比べて2件増加しています。佐世保労働基準監督署では、今後も死亡災害の撲滅に取り組んでまいります。

発生日	業種	被災者 性別・年齢	事故の型	概要
6月	建設業	男性 68歳	激突され	被災者が伐木作業中、割けた立木が激突し死亡したものと
7月	保健衛生業	男性 66歳	墜落・転落	事業場の駐車場で、柵を突き破り、8.8メートル下の川に車ごと転落したものと。
9月	建設業	男性 61歳	墜落・転落	倉庫解体作業中、フォークリフトに差し込まれたパレット上にて、鉄骨に玉掛作業を行っていたところ、落下し、死亡したものと。

● 年末年始は無事故、無災害、健康、安全で！

佐世保労働基準監督署管内の令和元年10月末時点の全産業における休業4日以上労働災害発生件数は、233件と前年同期と比べ4件(1.7%)増加しており、ここ数年でも増加傾向にあります。

これら労働災害の内容を分析しますと、「転倒」災害に次いで建築物や脚立等からの「墜落・転落」災害が全災害の約22%を占め、多発傾向にあることから重篤災害の発生が危惧される場所でもあります。

こうした状況の下、佐世保労働基準監督署では「第13次労働災害防止計画」に基づき労働災害削減を推進しているところではありますが、年末年始はなにかと慌ただしく、大掃除や機械設備の保守点検等の通常とは違った非定常作業が多くなることから、非定常作業における安全確認の徹底など、職場では特別の配慮が必要となります。

つきましては、年末年始を労働災害ゼロで乗り切るため、労使一体となって安全衛生意識を高め、安全衛生活動を推進し、令和となって初めての年末を無事に締めくくり、明るい新年を迎えましょう！

年末年始も労働災害ゼロ

長崎に無事故の
輪を広げよう

アクションZERO



長崎労働局 佐世保労働基準監督署